

(特選紙)



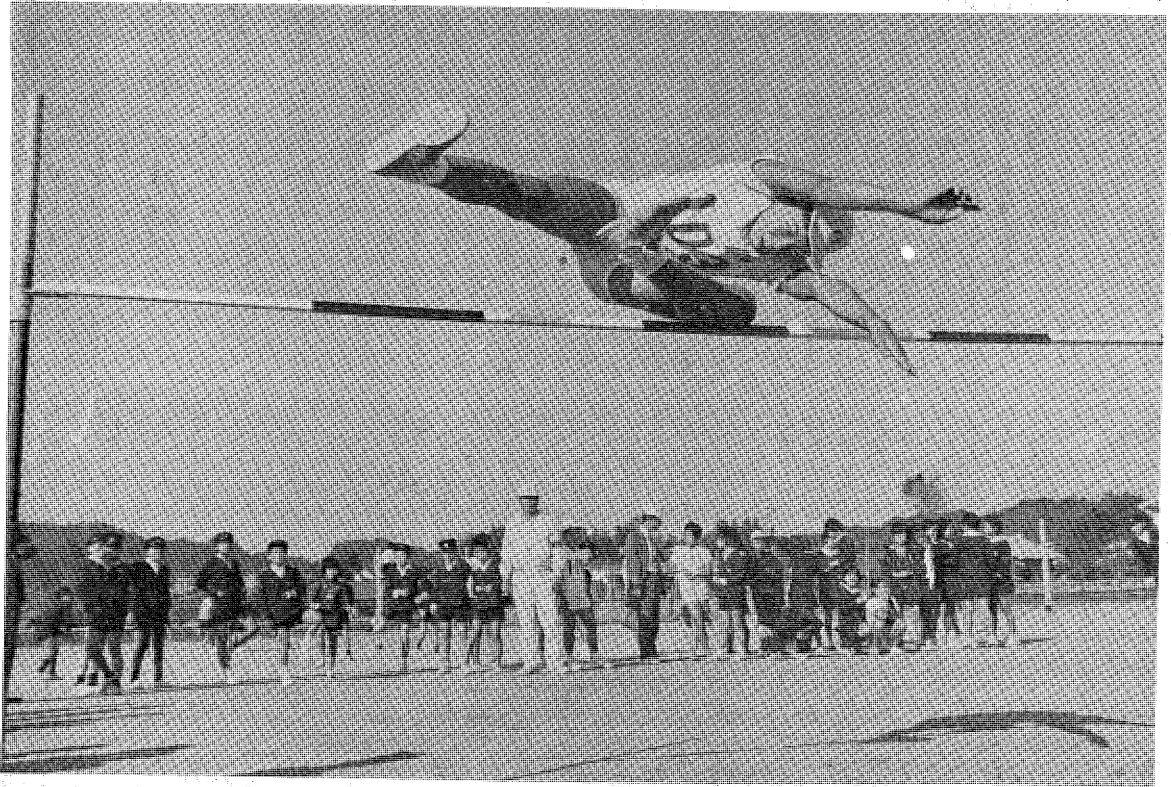
加じき

第144号

43. 11. 15 発行

発行所 加治木町役場
発行者 曾木 隆輝
担当者 向江 巧
編集者 中元 邦夫
印刷所 吉屋 印刷

全ご家庭に、みれなく配布



がんばれ加治木の子

町内の小、中学校陸上記録会は10月29日加治木中学校グラウンドで行なわれました。選手たちは、それぞれの学校と自分の番号を書いた3けたのゼッケンを胸につけて、真剣に新しい記録へと努力していました。

この陸上記録会はことしが3回目ですが、これまでに数多くの新記録が残っていましたが、当日はこの記録を破る好記録が続々と出て、駆けつけた校長先生や上級生、下級生たちの声援や拍手を浴びていました。

昭和47年には鹿児島県で国民体育大会が開催されることになりました。「鹿児島国体を成功させよう」と関係団体では県民に呼びかけています。選手だけの参加でなく、開催県として県民そろって協力し、すべての面で成功するよう努力したいものです。

この記録会で加治木のよい子たちが、どんどん新記録をつくと同時に、粘り抜く根生と体力を養うよう望みたいです。

写真…新記録に挑む日高昭典くん(花小)

三億六千三十四万円

温泉保養券を老人・身障者へ

教育委員 監査委員を決める

定例第三回町議会

定例第三回町議会は、さる九月十九日から二十五日までの七日間町議事堂で開かれ、提出された一般会計補正予算額八百六十四万五千円をはじめ、国民健康保険・水道事業会計補正予算、それに町教育委員の任命、監査委員の選任、町道の認定などを議決、承認しました。

とくに今度の町議会では、町内に居住しているお年寄りや身体障害者へ加治木温泉の保養券を贈りこれらのかたがたをお慰めすることに決めました。

町教育委員の任命

西之原の白尾国男氏を、三期めの町教育委員として任命しました

町監査委員の選任

垂之口の浜田隼人氏は、これまで町監査委員として永年ご尽力くださいましたが、このほど任期満了となり退任されたので、この後任として新道の林敏克氏を、新しく町監査委員として選任しました

町道として二線を認定

●岩原ノ寺後線：東亞道路KKから日豊線沿いに江口団地を径

て国道に通ずる。

●明治東線：木田小鳥神社から鉄道踏切りを経て明乳KK東側

を通り、国道に通ずる。

●字の区域変更について

農業構造改善事業による耕地整備のため、野老迫、中ノ原、内ナシ、上市来原の字区域を、下市来原に編入することにしました。

町営温泉の使用料改正

町営公衆浴場(温泉)設置管理条例の一部(使用料)を改正する

条例は審議の結果、この使用料を改正する時期が適当でないとして否決し、現状のままとなりました。

議員による行政、産業事務調査

町議会では和歌山、三重、静岡各県下の優良町の一般行政運営、

公共施設や産業の事務調査をする

ため、議員十名事務局二名が、十一月二日から九日間の日程で調査

に出向くことを決めました。

一般会計補正予算

一般会計補正予算のおもなものは次のとおりです。

●例規集印刷ほか五十四万七千円、

●人身障害者に対する入浴補助三〇万

円、労働費夏冬期の対策費二二六

万八千円、県単土地改良事業のか

ん排工事補助五〇万四千円、墓地

公園事業立木補償はか〇二万二

千円、災害復旧事業費の繰上償還

二〇八万円などとなっています。

●これでは一般会計の予算総額は三億

六千二百四十四万四千円となりまし

た。

国保と水道特別会計補正予算

国民健康保険の補正予算額は五

一万六千円で、備品購入はか二一

万円、老人身障者に対する入浴補

助三〇万円となっています。

●水道事業の補正予算は三五万

円で、穿孔機、ポンプの購入はかと

なっています。

議会での町政報告……町長

町長は定例議会の会議に入る前

に、最近の町政報告をしました。

おもな内容は次のとおりです。

九州縦貫道促進期成大会に出席

東京の全国都道府県会館で、九

州縦貫道の促進期成大会が開かれ

関係各県知事、市町村長等が参加

しました。これは新年度における

縦貫道の予算獲得が目的です。

大脇石油KKについて

大脇石油KKは過日、加治木漁

業協同組合と契約を結びこれに調

印しました。

消防操法郡大会結果について

さる九月十三日に行なわれた始

良、伊佐地区消防操法大会で当町

の消防団が優勝し、県大会に出場

することになった。これは団員の

一町選管委員を選任

田中部落(植山義治ほか一八六

名)から提出されていた「町道新

設と側こう設定に関する陳情書」

十月開催の臨時第三回町議会で

次のかたがたが町選挙管理委員会

の委員として選任されました。

●委員長 沢木清彦 (朝日町)

委員 増田庄之助 (木田町)

坂部久雄 (小山田)

鹿屋敬二 (西別町)

横山清 (本町)

大脇篤彦 (木田)

大宮路篤男 (辺川)

坂元 淳 (日木山)

畜産品評会について

町内の各大字で行なわれた畜産

品評会を始め、町の品評会も近年

にない多数の出品であり、最近

は当町の牛も大変りっぱになった。

飼育家の管理も行きとどいている

との講評も受けている。町と農協

が導入し、資金利子補給をなして

おり、その成果のあらわれである

加治木港の改修

加治木港の改修がこのほど決ま

り、湾内では港として一つだけ新

規に採用された。設計もでき上が

り、次の工作に準備中である。

開発公社の設立について

町では開発公社の設立を準備中

であるが、書類上の整備を終え、

近いうちに設立することになる。

明治百年記念事業

本町も明治百年記念事業として

十一月十五日ごろ、美術展、文化

祭、芸能祭を計画している。

●ことは島津義弘公の三百五十

年祭にも当たるので、これらを合

わせて行なう予定である。できる

だけ各方面の協力を得て、意義あ

る行事としてやりたい。

狩猟シーズン

十一月一日から「狩猟解禁」

となりました。昨年も狩猟期間中の

事故が相変らず続発しました。今

年こそは、銃の取扱いを慎重にし

て不幸な猟銃事故の防止につとめ

ましょう。

●また、事故は猟期だけに限つて

いるのではなく、年間を通じて、

盗難、紛失などの事故も出ていま

す

●銃の保管、取扱いは特に注意し

て、事故のない楽しい狩猟期を過

ごせるようお願いいたします。



第20回町民体育祭

“迷”演技が続出

時計もみとれて時間オーバー

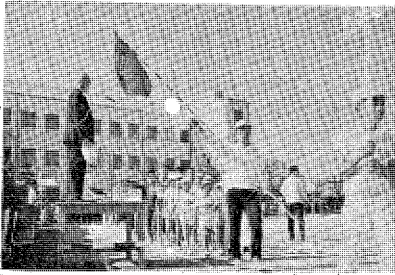
第二十回町民体育祭は、十月十三日加治木中グラウンドで行なわれ、終日歓声でにぎわいました。

この体育祭は、町民の多くの人が運動に楽しむ機会をつくり、体力の増進とスポーツ・レクリエーションを通じて、町民お互いの融和、団結をはかり、明るい町づくりに寄与しようとする目的で行なわれました。

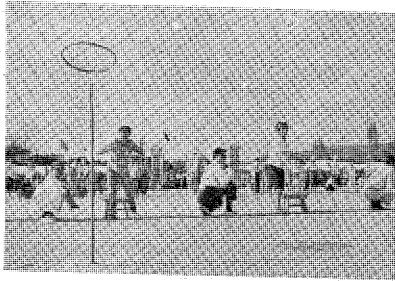
とくにことは、明治百年の記念する年にあたりますので「明治百年記念体育祭」として、今までなかった目新しい明治百年聖火リ

レーなどが取り入れられ晴れわたった秋空のもと、色とりどりの各地区の旗がなびき、出場者と観衆とのチームワークで、根性と力のこもった競技がグラウンド内に展開され、力あまってる“迷”演技が続出、予定の時間をはるかにオーバーするなど、なかなかの盛会でした。

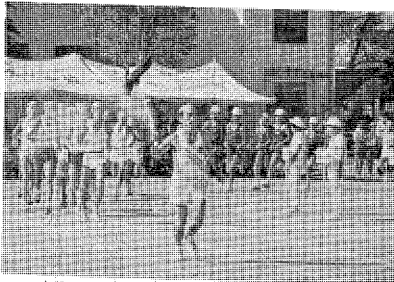
参加した全員が大きな事故もなく、元気で初期の目的を十分に果たし、有意義なスポーツの一日を終えました。ご協力ありがとうございました。



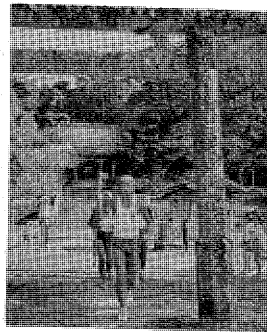
入場行進“かしら右”



50代・60代の輪入れ「それ」どうかな



最終走者と中継ランナーの入場



成績は次のとおりです。

- (Aブロック)
 - ① 錦江(一)
 - ② 城東
 - ③ 城西
 - (Bブロック)
 - ① 竜門東元
 - ② 永原(二)

小・中学生が協力

精矛神社から聖火を運ぶ

町内日本山にある精矛神社の御神燈からトーチに移された聖火は第一走者の加治木中の生徒たちによって同神社をスタート。コースの各所で、各学校単位で待機している走者に受け継がれ十区間三・九キロを経て無事、会場前に到着しました。

ここで最終走者の小浜氏長さん(柳田)の持つトーチに点火され小浜さんを先頭に全員そろって、グラウンドを一周、特別に設けられた聖火台に移され、競技の終わるまで燃え続けました。

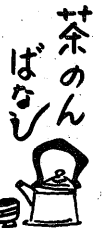
開会式のふんい気を盛り上げるために力走した“小さな陰の立役者”小中学校のみなさん、ご苦労さまでした。

(写真説明：右は精矛神社の神燈を受けついで聖火隊)

たばこは

町内の店で

買いましょ



20回出場記録男

木場政昭さん

町民体育祭のたびに、毎年かかさず出場し、ことしの20回体育祭に、みごと20回出場の記録をつくり、開会式の際表彰を受けた木場さんは昭和二年一月生れの四十一歳、錦江第二地区の一〇〇メートル、二〇〇メートルの選手、商業のかたわら地区体育保健部長や町体育指導員などの役を引受け後継者の育成指導にあたっています。家庭はトミ子夫人と一男二女の五人。現在錦江分団の副分団長でもあります。

国体へ連続出場

黒江悦子さん

国体へ連続七回も出場して、大活躍されている黒江悦子さんは、町内木田(豊町)の出身で、加治木中学校を昭和三十六年に卒業後、鹿児島女子高校に入学、同校二年のとき国体へ本県選手として初出場、以来毎年続けて出場し、百メートル、走り幅跳び、リレー、砲丸投げで活躍されています。

ことしの福井国体では、教員女子の百メートルで十二秒七の好成績で、全国二位に入賞されました。黒江さんは現在、鹿児島市立南中学校の先生をしておられます。

お米は商品です

脱穀に細心の注意を

農家の皆さん、お米は商品です。よい米をたくさん出荷しましょう。そのためには、つぎのことを守りましょう。

脱穀は

生脱穀や乾燥の悪いものの脱穀をやめ、機械は五〇〇回転以下に調整して、胴割れ米が出ないようにしましょう。

乾燥と調整は

●地干しは、胴割れ米や碎き米の発生が多くなり、品質が悪くなります。掛け干しを励行しましょう。

●七日から十日ぐらい掛け干ししたくもみでも一六一〜一七パーセントほどの水分があります。

包装込み60キロ当たり 第1表

等級	水 稻	陸 稻
1	8.483 円	8.123 円
2	8.363	8.003
3	8.243	7.883
4	8.123	7.763
5	7.823	7.463

(60キロ当たり) 第2表

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
1月16日	2月16日	3月16日	4月16日	5月16日
?	?	?	?	6月10日
2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	5月31日
円 54	円 108	円 162	円 216	円 270

す。脱穀後はムシロ干しまたは通風乾燥によって、水分一三・五〜一四パーセントになるように乾燥し、唐箕選によってくもみの調整を念に仕上げてからくもみすりを入れます。

▲昭和43年度産米買入れ価格
このほかに今年、出荷調整金として金利保管料を勘案して、出荷期別に(別表2)のとおり支払

われます。

もみすり・脱穀料

43年産のもみすり脱穀料が次のように決まりました。

1. もみすり料(固定、移動とも)
玄米一呎当たり……一三〇円
2. 脱穀料
もみ一呎当たり……一〇〇円
3. 乾燥料
▽水分一八パーセント以下

- 玄米一呎当たり……一三〇円
- ▽水分一八パーセント以上
玄米一呎当たり……一五〇円
- ▽もみ一呎当たり……一〇〇円
- 4. 包装料
玄米一呎当たり……一〇円

ことしの町畜産品評会は、九月七日種馬所あとで開かれました。出品数も七十六頭をかぞえ、最近ない盛況ぶりであり、審査員も牛の間をぬって審査を続けていました。広い種馬所あとも、この日だけは、せまく感じられました。

なんと76頭が出品

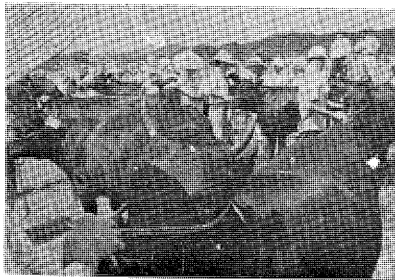
町畜産品評会

特に、ことしは豚の出品がなかったことが何となくさびしいことでした。このころでは多頭飼育をする農家もふえつつあります。

種目別の一位入賞者は、次のとおりです。

■当才牛

福園親義(小山田) 榎田静男(日木山) 児玉磯右エ門(木田)



審査を待つ牛, 牛, 牛

- 岩次口亀吉(木田) 内村白男(小山田) 梅木文吉(日木山)
- 二才牛
上村悌吉(西別府) 満留武二(小山田) 内村栄二(小山田) 新福重夫(反土) 穂森 保(木田) 神園政徳(辺川)
- 三才牛
満留武二(小山田) 大山美良(西別府) 城 直衛(同) 樗木純義(同)

郡畜産共進会の成績

始良郡畜産共進会は、さる九月十六・十七日の二日間、日当山家畜市場で開かれ、本町から和牛、乳牛あわせて十一頭が出品されました。成績は次のとおりです。

- 当才牛
(一等賞) 児玉磯右エ門 榎田静男
- (二等賞) 福園近義
- (二等賞) 満留武二 新福重夫
- (二等賞) 内村栄二 上村悌吉
- (三才牛)
- (二等賞) 満留武二 大山美良
- 乳牛(未經産)
(二等賞) 榎谷貞則
- (経産) (一等賞) 緒方 功
- 総合成績
(和牛) 第三位加治木(乳牛) 第三位加治木

■種牡牛

新智恵(西別府) 東明(同) 外園清次(辺川) 石川静夫(日木山)

■肥育牛

岩崎 司(西別府) 下枝みや子(木田) 今西 実(同) 江口杉男(同)

■乳牛(未經産)

緒方吉行(日木山) 内村信男(小山田)

■乳牛(経産)

緒方 功(日木山) 楠元栄二(木田)

献血バッジを胸に

みんな持とう献血手帳

「あなたの献血を心から感謝いたします。このきれいなあなたの血液は、重い病気や大きなケガなどで苦しむ人びとの、貴重な生命を守るために役立てられます。」

これは、献血をしたとき本人へ交付される献血手帳の「ページ」に掲載されていることばです。(本人の血液型を表わした献血バッジも同時に交付されます。)

さる十月七日町では、ことし二回めの献血を行いました。前に各自治会や事業所、官公署等に献血についてご協力くださるよう、お願いしておりましたところ、当日は六〇名近い方が献血をされました。実際には、これ以上の方が献血を希望されましたが、診察の結果、健康上や血液の濃度などの都合で止むなしくお帰りになった方もありました。この次は、きつと献血していただけたらと思います。ご協力ありがとうございます。

なお、献血について不安な感じを、おもちの方が大部分のように見受けられますが、そのような心配はありません。もし万一、自分が輸血を必要とする時の気持ちで、ぜひ町内の多くの方が献血運動に参加されて、自分も人助けができるという大きな喜びと、自信を身につけましょう。

加治木町 推進協議会が発足

栄養改善 推進委員のご利用を

この協議会は、町民の栄養改善に関係のある機関や団体の代表者で組織されており、町民の栄養に対する正しい考え方を、知識を普及し、その改善対策をもちたてることよって、健康の増進、体位の向上をはかることを目的として結成されたものです。

実際に活動していただくかたは、栄養教室を三か年間修業されたかたで、栄養改善推進委員と

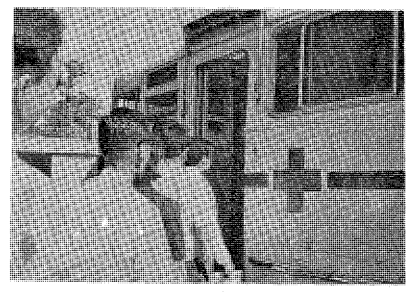
呼んでいます。部落の要請によって出かけるようになっていきます。希望される部落は、町教育委員会が校区婦人会、推進委員、または役場衛生係に、申込み用紙を準備してありますので、ご記入のうえ申込みください。

なお、実施される場合は夜間、土曜日の午後、日曜日はさけるようお願いします。

推進委員は次のかたがたです。

日本赤十字社では、献血手帳の所持者やその近親者が万一、病気や事故などで輸血を必要とされるような場合には、優先的に献血による血液を確保するようにしております。

献血にご協力ください。



ならんで献血を待つ人たち

- (岩原東) 有川アキエ 野元道子
- 木村ノリ (岩原西) 松金フヂ
- (西塩入下) 藏満月子 (毛上)
- 湯川サツ子 猪俣サダエ 溝口ミヨ (於里 久留綾子) (西反土後) 田井ミヤ子 (江湖) 岡元よしえ (田中) 津崎テル (久木元ツルエ (東諏訪) 前田ノブ 東条アツ子 (柳田) 曾木芳江 島津澄 迫潤子 永田フジ (西諏訪) 富屋ハル子 (田中) 稲田阿ヤ子

郷土をつくる郵便貯金

結核をなくすには

結核予防県大会で討議

第一回鹿児島県結核予防推進大会と、第三回鹿児島県結核予防婦人大会が、九月二十六日加治木中体育館で開かれ、県内各市町村から婦人会、予防会などの関係者、団体ら四百名あまりの人たちが参加しました。

県知事のあいさつのもと、個人や団体の表彰、感謝状の贈呈、表彰者による体験発表などがあり、このあと加治木保健所長の司会によって行なわれた公開座談会ではテーマ「結核をなくすには」について医師会、婦人会、保健婦、住民、予防会などの各立場からそれぞれの意見が交換されました。

やはり共通の意見としては、結核検診率の向上と結核予防思想の普及が大切であるということです。

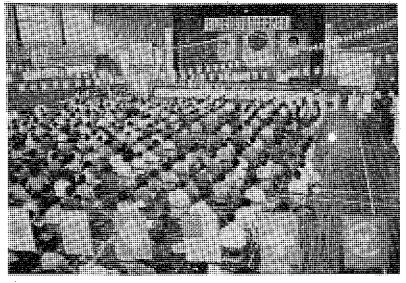
会場内には、結核関係の資料が数多く展示されており、会の合間をみても、写真やグラフに、くいるように見つめている婦人の姿も見受けました。

「ねがい！」

このつどいを契機として、結核のない健康で明るい家庭、社会づくりにつとめましょう (当日の資料から)

夜間市外電話利用の方へ

県内(ただし離島は除く)人吉、水俣、都城、小林周辺の夜間料金は割引きになりません。この地域への電話利用は、午後8時以前にお申し込みになった方が早くおつなぎできます。 —加治木電報電話局—



会場となった加中体育館

おとなが示そう正しい交通

小江小のよいこがパレード

秋の全国交通安全運動が十月十一日から二十日まで十日間、全国いっせいに進行されました。

本町でもこの運動期間中、町民会議、交通安全協会、PTA、警察署、学校などのご協力を得て、朝早くから町内の各所において街頭指導が実施されました。

とくに運動が始まった十一日には、小江小、錦江小の両校鼓笛隊員（総勢二四〇人）が、



パレードする児童たち

パトカーを先頭に市街地をパレードして、交通事故の防止、正しい交通を町民に呼びかけました。事故防止のプラカードを、ただか

「あなたは火事の恐ろしさを知らない」という統一標語をかかげて秋季全国火災予防運動が、十一月二十六日から十二月二日まで行なわれます。

今年上半期の全国での火災発生件数は、昨年の同じ時期にくらべて六・一パーセントの増加。また火災による死者も一三・九パーセントと増加がめだっています。

十一月二十六日から 秋季全国火災予防運動

今年になって一月から十月末までに、町内での火災発生件数は十二件となっておりあります。

これから火災の多発期をむかえるだけに、町民ひとり、ひとり火事の恐ろしさを再認識することにも、火の取扱いや火の始末には十分に気を配り、用がすんだら残り火がないか……もう一度しっかり確認するように心がけたいものです。

あなたは火事の恐ろしさを知らない

のです。

この火災予防運動期間中、広く火事の恐ろしさを国民にうったえるとともに、全国いっせいに実施事項として

- 一、バケツ一杯の水のくみ置き
 - 二、たばこの投げ捨てと寝たばこの防止
 - 三、地震の時の火の始末
- などの三つが取りあげられています。

火事は 一一九番へ

かを持つ子どもたちの顔は、みんなはればれとしていました。事故がないことは、しあわせで、こんなにも美しいものです。

意外に多かった 合同相談

法律、人件、行政、心配ごとの合同相談所が、九月十七日町郷土館の日本間で開設されました。

午前九時から午後三時まで二十名近い人たちが、相談をもち込み、それぞれ専門的な立ち場から裁判所、法務局の係り官や行政、人権擁護、心配ごとの各委員の説明や回答にうなずいていました。

初めての合同相談所の開設でしたが、予想外の利用者で関係者は喜んでいました。

お年寄りや身体障害者（傷い旧軍人を含む）に、町営温泉の保養券が贈られることになりました。この保養券の交付についての、きまりをお知らせします。

（趣旨）町民が敬老と福祉の意を表わし、老人や身体障害者の健康増進のために、町営温泉の保養券を交付するものです。

（利用の資格と回数）加治木町に居住していて、住民登録がある次の人に交付されます。

▲満六五歳～六九歳……月一回



相談をうける合同相談員

満65歳以上と 身障者の方へ

子どもたちは、見えています。おとなが身をもって正しい交通ルールを示しましょう。

▲満七〇歳以上………月三回 ▲身体障害者手帳を 交付されている人………月三回

（利用の制限）保養券の利用者が一時に多数で温泉が混雑するようなどときは、利用人員や回数日時を町長が制限することがあります。（適用除外）保養券の利用資格者でも、保養券を持って来ない人は適用されません。該当者は必ず、保養券を持って行きましょう。

また、身障者の方は、ごめんどうですが、ご利用の際に身体障害者手帳を提示してくださるようお願いいたします。

（注意）保養券は資格のある方だけに有効です。付き添いや連れの人には適用されませんので、ご注意ください。

町に水銀灯を贈る

加治木ロータリークラブ

加治木ロータリークラブ（会長 横山淳一氏）から、このほど町に水銀灯が三基贈られました。町ではつぎの三か所に建設をお願いします。

○竹下橋西側 ○西諏訪 ○今町墓地附近。ありがとうございます。

県民手帳の申込み

県民手帳（昭和44年）を申し込みになりたい方は、百円を添えて、町役場総務課企画消防係へどうぞ。